

神戸市役所展望ロビー 「トリップアドバイザー」が選ぶ人気無料スポット7位に

世界最大の旅行のプラットフォーム、トリップアドバイザーが11月に発表した『「旅好きが選ぶ日本人に人気の無料スポット2019」～Top 20 Free Attraction in Japan 2019～』で、神戸市中央区の「神戸市役所展望ロビー」が7位に初選出された。

トリップアドバイザーはホテル、旅行に関する口コミ・料金比較を中心とするウェブサイト、旅の口コミサイトとしては世界最大の閲覧数を持つ。今年で9回目となるランキングでは、日本全国の観光スポットから「無料」で楽しめる施設や場所が選ばれている。初登場7位の神戸市役所展望ロビーは、市

役所1号館24階にある展望台は地上から約100メートル。眼下には東に六甲アイランド、南はポートアイランドが広がり晴天時には紀伊半島まで見える。西にはハーバーランド、北には六甲山系が広がり、神戸のランドマーク、ポートタワーとほぼ同じ高さから「神戸」の景色が一望できる。

神戸の地形や地理を学ぶための校外授業として、ここを訪れるのは市内の小学生の定番。夜景スポットとしても評判で、神戸っ子なら一度は上ったことのある展望台だろう。市民解放施設として一般に公開し、広く親しまれている場所だけに地元の人た

ちにとっては「なぜ今?」と、ちょっと意外な選出だったようだ。展望台を訪れていた市内在住30年以上という女性は「ポートタワーは海側の景色を見るのに最高。ここは神戸の街並みを眺めるのにいい場所。子どものころから何十回も来ています」と話した。

ランキングのトップ20のうち7施設が初登場だった2019年の上位は、1位「JAL工場見学 SKY MUSEUM」(東京都大田区)2位「黒部ダム」(富山県立山町)3位「ニッカウキスキー 余市蒸留所」(北海道余市町)と有名スポットがランクイン。JAL工場見学は2年連続で1位を獲得した。官公庁の施



展望台からの眺望。ルミナリエ期間はいつもに増して多くの人でにぎわった。

設としては「東京都庁展望室」(20位)と神戸市役所展望台のみ。市の担当者は「全国のみなさんに知っていただけるのはいいこと。これから反響があるかもしれない」と話す。

展望台は三ノ宮各駅から南へ徒歩約10分。平日8時15分～22時、土日祝日10時～22時(年末年始休館あり)神戸市役所1号館専用エレベーターで24階へ。

City Life NEWS CULTURE - SPECIAL INTERVIEW

20歳の監督が撮った 映画「真言アイロニー」 尼崎で完成披露試写会を開催

神戸市にある真言宗御室派梵天山「宝珠寺」の第十七世住職：平井尊士(ひらいたかし・そんし)氏が急逝したのは2017年12月23日のこと。父親の仕事の関係で平井氏と懇意にしていた石原ひなたさん(当時19歳)はADHD(注意欠陥・多動性障がい)で生き方に悩むなか、平井氏と過ごした短い時間の中で『自分らしい生き方』『生かされている意義』を見出し始めていた。

「中学生の頃、父が仕事で結婚式の映像撮影を頼まれた際、サービスで写真撮影をしたいのだけれど、お前が撮ってみる

か?、と父に言われたのがこの仕事を始めるきっかけでした」とひなたさん。撮った写真を見て、新郎新婦が感動してくれたことで、初めて人に認めてもらう喜びを経験したと言う。「そうやって、父の仕事を手伝う中で、平井さんと出会いました。僧侶であり、大学の教授でもあった人ですが、いつも豪放磊落(らいらく)で、僕のADHDの特性にも困っていた様子はなかったです。

生前、平井氏は「ひなたくんが写真や映像の仕事で大きな賞を取ったら、おいしいステーキの店に連れて行ってあげる、とよく言っていたそう。「それは賞が大事なんじや

なくて、賞をとって、いろんな人からの信頼を得て仕事ができるような環境を作りなさい、ということだったと思います」とひなたさん。

映画では、平井さんを中心にそれぞれの人のドラマが描かれている。「ストーリーは、配役のほとんどすべてにモデルとなる人物が存在する【ファクション】(faction)の群像劇になっています。この映画を作りたいと思った動機は、平井さんを二度死なせない(彼の生きた記憶を人々の脳裏から風化させない)という思いからでした」とひなた

さん。映画製作のための多額の費用も自身で各方面に出向き、集めたという。

オフィシャルサイトでは、180秒の予告映像を見ることができる。北摂や阪神間の見慣れた風景が、ひなたさんの感性で物語の舞台となり、登場人物の想いが伝わってくる。全編を見たいくなる作品だ。



※試写会情報、申し込み方法はP.22を参照
石原ひなた DIRECTOR/CINEMATOGRAPHER
1998年11月20日生まれ。iii1237代表。現在、大阪芸術大学映像学科に在学中。

HARBOR YOGA ★

▶ 1/9・23(木) 第2・4木曜日
18時半～19時半

一般的なヨガポーズや呼吸法、瞑想法などを取り入れ男女問わず参加できるヨガ教室。自分のペースで体を動かして、ココロとカラダを整えよう。初心者の方も気軽に参加しよう。

■神戸ハーバーランドスペースシアター(神戸市中央区東川崎町1-3-3) ■参加費:1,000円(ヨガマットレンタル200円) ■問:TEL078-360-3335(神戸ハーバーランド株式会社/9時～17時半)

はじめてダンス ★

▶ 1/7(火)・21(火)
子どもクラス(対象:中学まで)
17時半～18時半

ダンス好きの子どもが集まる初心者向けダンスレッスン。幼児から参加できる。音楽に合わせて楽しくダンスしよう。毎月第1、第3火曜日開催。

■神戸ハーバーランドスペースシアター(神戸市中央区東川崎町1-3-3) ■参加無料 ■問:TEL078-360-3335(ハーバーランド株式会社)

大正・昭和 神戸まぼろしの公会堂 コンペ再現!展 🏛️

▶ 開催中～3/8(日)
10時～17時(入館は16時半まで)
月曜休館(祝日の場合開館)、
12/29～1/3・14・2/25休館

大正期と昭和期に、神戸市中央区の大倉山に公会堂を建設する計画があったが建てられずに終わった。本展ではまぼろしの公会堂と呼ばれる、公会堂の設計図85枚を一堂に展示し、近代神戸の知られざる歴史に迫る。

■神戸ゆかりの美術館(神戸市東灘区向洋町中2-9-1) ■入館料:一般800円/大学生400円/高校生以下無料 ■問:TEL078-858-1520

堀内あびすコレクション展 🏛️
良い夢 初夢 たからぶね

▶ 開催中
～1/13(月・祝)
10時～17時
(入館は16時半まで)
火曜休館、12/30～1/3休館

宝船は、良い初夢を見るために枕の下に敷いた船の図で、豊作を願っての「福穂」、悪夢を食べるという想像上の生き物「猿(ばく)」の字、にぎやかな福の神集団「七福神」などの宝物が乗せられている。本展では、おめでたい初夢を運ぶ、福いっぱい宝船を展示。

■白鹿記念酒造博物館(西宮市鞍掛町8-21) ■入館料:一般400円/小学生200円 ■問:TEL0798-33-0008

EVENT 阪神・神戸イベント

🎵 コンサート 🖼️ ギャラリー
★ 催し 🏛️ ミュージアム
🗣️ 講座・講演

掲載無料 あなたの街の情報を
お待ちしております!

メール play@citylife-new.com

※応募・掲載希望月の前月8日まで(以降も受付の場合あり)
※掲載の場合のみ、編集部から連絡いたします。

神戸野菜学ブロッコリー ★

▶ 1/26(日) 12時～15時

2017年から続く「旬の野菜」をテーマに、栽培するひと・広めるひと・料理するひとの3組から野菜について学ぶワークショッププログラム。座学と調理実習のカリキュラムで美味しく楽しく野菜の魅力を発見してみよう。

■デザイン・クリエイティブセンター神戸1階(神戸市中央区小野浜町1-4) ■参加費:2,000円(材料費・試食込み) ■定員:20名(事前申込制・申込多数の場合抽選) ■申込:https://kiito.jp/にて ■TEL.078-325-2235

ミレニアムウインズ神戸 🎵
第9回定期演奏会

▶ 1/25(土)
13時半開演
(13時開場)

2000年に結成した神戸市内で活動しているアマチュア吹奏楽団「ミレニアムウインズ神戸」。10～70代と幅広い年代で構成される吹奏楽団の演奏を楽しんで。

■東灘区民センター6階うはらホール(神戸市東灘区住吉東町5-1-16) ■入場無料 ■問:attackmm@juno.ocn.ne.jp

神戸フィルハーモニック 🎵
2020ニューイヤーコンサート

▶ 1/18(土)
14時～16時
(13時半開場)

第一部 ベートーヴェンはこんな人…。トルコ行進曲、エリーゼの為に、ピアノ協奏曲第5番「皇帝」1楽章、交響曲第5番「運命」のお話
第二部 もう一人の天才、ヨーゼフ・シュトラウス。ポルカ「とんぼ」、ワルツ「天体の音楽」、ワルツ「美しき青木ドナウ」(ヨハン・シュトラウス2世作曲)ほか

■神戸芸術センター(神戸市中央区熊内通7-1-13) ■入場料:一般前売2,000円(当日2,500円)/大学生以下1,000円(当日1,000円) ■申込:パスポートにて「神戸フィルハーモニック」で検索 ■問:TEL078-241-7477

避難訓練コンサート ★

▶ 1/17(金)
15時半～17時半
(13時開場)
体験・展示ブースは13時から入場可

コンサート中に災害が発生したらという想定で行うコンサート。防災に関する展示やワークショップなど子どもから大人まで楽しめるイベント。

■神戸国際会館こくさいホール(神戸市中央区御幸通8-1-6) ■入場無料 ■問:078-231-8162

大工さん展 🏛️
近世の職人文化とその伝統

▶ 1/11(土)～3/1(日)
9時半～16時半(入館は16時まで)
月曜休館(祝日の場合開館)

「大工さん」が活躍した江戸から明治大正にかけての職人像に焦点をあて、衣食住といった日常の暮らしや、仕事場での姿を通して、職人が築き上げてきた独特の世界を紹介する。

■竹中大工道具館(神戸市中央区熊内町7-5-1) ■入館料:一般500円/大高生300円/中学生以下無料/65歳以上200円 ■問:TEL 078-242-0216